



NHK 詳細分析

2026-05-04_radio_news_1100

放送: 2026-05-04 | 分析日: 2026-05-13 14:43

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

総合スコア

3.0/10

軽微な不均衡

0 = 均衡、10 = 著しく偏向/操作的

政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による 学術調査です。各政党は0 (極左) から 10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)

5.0 / 10

均衡

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

← 左

右 →

出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — chesdata.eu | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](https://doi.org/10.1017/XES.2022.1) | 関値: [Pew Research Center](https://www.pewresearch.org/)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



政治的景観

現政権は自由民主党（LDP）と公明党（Komeito）の連立政権である。2024年10月27日の衆院選でLDPは191議席（大幅減）、公明党は24議席を獲得し、過半数割れの状況にある。主要野党は立憲民主党（CDP、148議席）、日本維新の会（Ishin、38議席）、国民民主党（DPP、28議席）、日本共産党（JCP、8議席）、れいわ新選組（Reiwa、9議席）である。本放送時点では高市早苗氏が総理大臣として言及されており、石破茂政権後の政権交代が示唆される。

政党	左右スコア	議席数	政権・野党	主要政策
日本共産党（JCP）	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時脱原発、反軍備拡張
社民党（SDP）	2.5	1	野党	平和主義、護憲、脱原発
れいわ新選組（Reiwa）	2.5	9	野党	消費税廃止、反軍拡、MMT経済
立憲民主党（CDP）	3.5	148	野党	護憲、分配重視、脱原発
公明党（Komeito）	5.0	24	連立与党	平和志向、社会保障、LDP抑制
国民民主党（DPP）	5.5	28	中間	消費税減税、実用主義
自由民主党（LDP）	7.0	191	与党	憲法改正、防衛増強、経済成長
日本維新の会（Ishin）	7.0	38	野党	規制緩和、行政改革、改憲
参政党（）	9.0	3	野党	超国家主義、右翼ポピュリズム

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

Sanseito
)

日本の現在の主要な政治的対立軸は、憲法改正（特に第9条）をめぐる護憲派と改憲派の対立、エネルギー政策における原発再稼働推進派と脱原発派の対立、防衛費増額をめぐる安全保障政策の方向性、そして経済格差是正と成長優先のバランスである。2024年衆院選でのLDP過半数割れにより、政権運営の不安定化と野党の影響力増大が新たな緊張軸となっている。

NHKは放送法第4条に基づき、政治的公平性、報道の正確性、多角的な論点提示が義務付けられている。NHKの経営委員会委員12名は内閣総理大臣が任命（国会同意）するため、安倍政権以降「政府寄り」との批判が継続している。国境なき記者団の報道自由度ランキングでは日本は70位（2024年）であり、記者クラブ制度が情報アクセスの構造的偏りを生んでいる。

- ・ タイトル：NHKニュース（午前11時）
- ・ 日付（ファイル名より）：特定不可（文脈から2025年6月頃と推定）
- ・ 放送時間（トランスクリプトより推定）：約4分50秒
- ・ 司会者・レポーター：「マサオナ」（アナウンサー名、トランスクリプト末尾より）
- ・ 出演者：なし（スタジオ読み上げ形式、インタビュー対象者なし）

人物	役職	政党・所属	政治的スペクトル
茂木外務大臣	外務大臣（言及のみ）	LDP	右寄り（7.0）
高市総理大臣	内閣総理大臣（言及のみ）	LDP	右寄り（7.0）
岡本一馬選手	プロ野球選手（言及のみ）	非政治	該当なし

本放送は、①茂木外務大臣のケニア訪問とアフリカ政策スピーチ、②陸上自衛隊第一普通科連隊のロゴマーク問題、③大リーグ・岡本一馬選手の本塁打記録、という3つの独立したニュース項目で構成された短時間の定時ニュースである。

本放送は高市政権下における「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」政策の継続・発展を外交ニュースとして伝えており、日本の対アフリカ外交戦略の転換点を示している。自衛隊ロゴ問題は、軍事組織の公的イメージ管理と市民社会との関係という普遍的テーマに触れている。スポーツニュースは政治的中立性の高い内容であり、放送全体のバランス調整機能を果たしている可能性がある。本放送は定時ニュース形式であり、深掘り報道ではなく速報的な情報提供を目的としている。

- ・ **[A]** アフリカ諸国側の視点：FOIP政策に対するアフリカ各国政府・市民社会の評価
 - ・ **[B]** 中国・ロシアの対アフリカ政策との比較：競合する外交戦略の文脈
 - ・ **[C]** TICADの実績評価：過去の約束の履行状況と批判的評価
 - ・ **[D]** 野党の外交政策批判：CDP・JCP等の対アフリカ政策への見解
 - ・ **[E]** 自衛隊ロゴ問題の法的・制度的背景：自衛隊の広報規定と監督体制
 - ・ **[F]** 軍事組織のシンボル使用に関する国際比較：他国軍のロゴ基準
 - ・ **[G]** 批判した市民・専門家の具体的意見：SNS批判の内容と根拠
 - ・ **[H]** 防衛省・自衛隊の組織文化に関する専門家分析
 - ・ **[I]** 岡本選手の記録の国際的文脈：MLB全体での位置づけ
 - ・ **[J]** 高市政権のFOIP政策と前政権との連続性・差異
- [A]** アフリカ諸国側の視点 — 省略

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：アフリカ側の反応・評価は一切言及されず、日本側の一方的な政策発表として報道された。

【B】 競合する外交戦略との比較 — 省略

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：中国・ロシアの対アフリカ政策との比較文脈が完全に欠落しており、FOIP政策の相対的位置づけが不明確である。

【C】 TICADの実績評価 — 省略

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：TICADへの言及はあるが（01:25）、過去の約束履行状況や批判的評価は一切触れられていない。

【D】 野党の外交政策批判 — 省略

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：与党政府の政策発表のみが報道され、野党の見解は完全に欠落している。

【E】 自衛隊ロゴ問題の法的・制度的背景 — 部分的に言及

タイムスタンプ：02:35～02:58

引用：「部隊のロゴについては、隊員の士気向上や貴族意識の向上目的で作成しておりますが」

評価：自衛隊側の説明は引用されたが、法的根拠や監督体制への言及はない。

【F】 軍事組織のシンボル使用に関する国際比較 — 省略

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：国際比較の視点は完全に欠落している。

【G】 批判した市民・専門家の具体的意見 — 部分的に言及

タイムスタンプ：02:22～02:27

引用：「自衛隊のロゴマークにふさわしくない、などといった批判の声が相次ぎました」

評価：批判の存在は言及されたが、具体的内容・根拠・批判者の属性は一切示されていない。

【H】 防衛省・自衛隊の組織文化に関する専門家分析 — 省略

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：専門家分析は完全に欠落している。

【I】 岡本選手の記録の国際的文脈 — 部分的に言及

タイムスタンプ：04:13～04:43

引用：「大リーグで3試合連続のホームランをマークした日本選手は、松井秀樹さん...」

評価：日本人選手内での比較はあるが、MLB全体での統計的位置づけは示されていない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



【J】高市政権のFOIP政策と前政権との連続性・差異 — 省略

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：「進化させた」という表現はあるが（00:15）、具体的な政策変化の内容は説明されていない。

根拠：本放送は約4分50秒の短時間定時ニュースであり、深掘り報道を期待することは形式上困難である。しかし、外交政策報道において対立する視点（野党・相手国・競合国）が完全に欠落しており、自衛隊ロゴ問題においても批判の具体的内容が示されていない。スポーツニュースは形式上の完全性を持つが、政治・安全保障関連ニュースの完全性は著しく低い。定時ニュースの形式的制約を考慮しても、放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から不十分と判断する。

- ・ アフリカ外交専門家（学術）：FOIP政策のアフリカにおける実効性と課題について客観的評価を提供できた
- ・ 野党外交担当議員（CDP・JCP等）：高市政権の対アフリカ政策への批判的見解を提供できた
- ・ アフリカ現地記者・研究者：日本の対アフリカ政策に対する現地の受け止めを伝えられた
- ・ 防衛省広報担当者：ロゴマーク問題の制度的背景と再発防止策について説明できた
- ・ 軍事倫理・シビリアンコントロール専門家：自衛隊のシンボル使用基準の問題点を分析できた
- ・ SNS批判者・市民団体代表：ロゴ批判の具体的根拠と社会的懸念を代弁できた
- ・ MLB統計専門家・スポーツジャーナリスト：岡本選手の記録のMLB全体における統計的意義を解説できた
- ・ TICAD参加国代表：過去の日本のアフリカ支援の実績評価と今後への期待を示せた

ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

1. 専門家の選定									2/10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

定義：誰が専門家として発言しているか？

本放送はスタジオ読み上げ形式であり、外部専門家・コメンテーターは一切登場しない。以下は放送内で言及された人物の分析である。

言及人物1：茂木外務大臣

タイムスタンプ：00:03～01:34

発言：「国際秩序の維持・強化には各国の自立性や強靭性を強化していく必要があり、あらゆる分野で必要な支援協力を行っていく」

位置づけ：LDP所属の現職外務大臣。政府の政策立案者であり、中立的専門家ではない。

欠落している対抗意見：野党外交担当議員、独立した外交政策研究者、アフリカ研究専門家

信頼性マトリクス（深層チェック）：

- (a) 資金調達：国家予算（税金）により運営される政府機関の大臣
- (b) 委任：外交政策の実行者であり、中立的評価とは構造的に相容れない
- (c) 信頼性マトリクス（ソース信号機、6次元、各-2～+2）：
 - D1 利益相反：-2 — 自身が立案した政策を宣伝する立場にある

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

- D2 個人的リスク：-1 — 政策失敗は政治的リスクを伴うが、発言内容は自己利益に沿う
- D3 専門能力：+1 — 外交経験はあるが、独立した学術的専門性ではない
- D4 意見の一貫性：0 — 過去の発言との比較データなし
- D5 感情化対データ：-1 — 「明るい未来」等の感情的表現が多く、具体的データが少ない
- D6 情報源レベル：+1 — 一次情報源（当事者）ではあるが、中立性は低い

• 合計：-2 → ソース信号機：黄色（-4～+4）

(d) 政府大臣の発言が中立的専門家意見として提示されているわけではないが、対抗意見なしに単独で報道されることで、事実上の権威付けが行われている。

言及人物2：第一普通科連隊（声明文）

タイムスタンプ：02:35～02:58

発言：「さまざまご意見をいただきました。部隊のロゴについては、隊員の士気向上や貴族意識の向上目的で作成しておりますが...当該ロゴの使用を中止することとします」

位置づけ：当事者組織の公式声明。中立的専門家ではない。

欠落している対抗意見：軍事倫理専門家、シビリアンコントロール研究者、批判した市民・団体

信頼性マトリクス（深層チェック）：

- (a) 資金調達：防衛省予算（税金）
- (b) 委任：自組織の行動を説明・正当化する立場であり、中立的評価とは相容れない
- (c) 信頼性マトリクス：

- D1 利益相反：-2 — 自組織の行動を弁護する立場
- D2 個人的リスク：-1 — 組織的批判を受けた後の対応声明
- D3 専門能力：+1 — 組織内部の意図については一次情報
- D4 意見の一貫性：0 — 比較データなし
- D5 感情化対データ：0 — 事務的な声明文
- D6 情報源レベル：+1 — 一次情報源（当事者）

• 合計：-1 → ソース信号機：黄色

(d) 当事者声明が批判的分析なしに放送されることで、問題の深刻さが矮小化される。

欠落している専門家グループ：

- アフリカ外交・国際関係専門家（学術）
- 軍事倫理・シビリアンコントロール専門家
- 野党政治家（外交・防衛担当）

まとめ（マトリクス結果）：茂木大臣：黄色（-2）、第一普通科連隊：黄色（-1）。両者とも当事者であり中立的専門家ではない。独立した専門家・対抗意見が完全に欠落しているが、定時ニュースの形式的制約を考慮してスコアを低めに設定した。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2. 情報源の選択

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源1：茂木外務大臣（政府公式スピーチ）

タイムスタンプ：00:03～01:34 — 発言：「国際秩序の維持・強化には各国の自立性や強靭性を強化していく必要がある」

- (a) 資金調達と運営主体：国家予算（税金）、LDP所属政治家
- (b) 構造的利益相反：自身が立案・実施する政策の宣伝者であり、中立的評価は構造的に不可能
- (c) 対抗意見を示す情報源の欠落：野党外交担当議員、独立した外交政策研究者、アフリカ研究者

欠落している対抗情報源：CDP・JCP等の野党外交政策担当者の見解

情報源2：第一普通科連隊公式声明

タイムスタンプ：02:35～02:58 — 発言：「当該ロゴの使用を中止することとします」

- (a) 資金調達と運営主体：防衛省予算（税金）
- (b) 構造的利益相反：自組織の行動を説明・正当化する立場
- (c) 対抗意見を示す情報源の欠落：軍事倫理専門家、批判した市民・団体の具体的声明

欠落している対抗情報源：シビリアンコントロール研究者、批判したSNSユーザーの代表的意見

まとめ：本放送で引用された情報源はすべて政府・自衛隊という当事者側であり、独立した専門家・対抗意見の情報源が完全に欠落している。これは放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



3. 時間配分

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる立場間の発言時間配分。

推定発言時間：

- 外交政策ニュース（政府立場）：約94秒（約33%）
- 自衛隊ロゴ問題（自衛隊声明含む）：約79秒（約27%）
- スポーツニュース（政治的中立）：約112秒（約39%）
- 司会者（読み上げ全体）：約290秒（100%）

まとめ：政治的内容（外交・防衛）において政府・自衛隊側の立場のみが時間を占有し、対抗意見に割り当てられた時間はゼロである。スポーツニュースが放送時間の約39%を占めることで、政治的内容の偏りが相対的に希釈されている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4. 省略 (選択的省略)

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：関連性があるにもかかわらず示されていないものは何か？ (第0段階を参照)

省略1：

文脈：高市政権のFOIP政策の具体的内容と前政権との差異

関連タイムスタンプ：00:08～01:34

影響：「進化させた」という表現が使用されているにもかかわらず、何がどのように変化したかが説明されず、視聴者は政策変更の実質を判断できない。

省略2：

文脈：自衛隊ロゴ批判の具体的内容と批判者の属性

関連タイムスタンプ：02:22～02:27

影響：「批判の声が相次いだ」という事実のみが伝えられ、批判の根拠・内容・批判者の属性が完全に欠落しており、視聴者は問題の本質を理解できない。

省略3：

文脈：野党・市民社会の外交政策への見解

関連タイムスタンプ：00:03～01:34 (外交ニュース全体)

影響：政府の政策発表が野党の批判や代替案なしに報道されることで、政策が社会的合意を得ているかのような印象を与える。

まとめ：外交政策報道における野党・対抗意見の完全欠落と、自衛隊ロゴ問題における批判内容の具体性欠如が主要な省略問題である。定時ニュースの形式的制約を考慮しても、放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



6. 連座による信用失墜 (連座制)

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義 : 否定的なグループ・思想との関連付けによる信用失墜。

本放送において、特定の人物や立場を否定的グループと関連付けることによる信用失墜の技法は確認されなかった。

まとめ : 本放送の短時間定時ニュース形式において、連座による信用失墜の技法は使用されていない。



7. タイミング

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中間・末尾）。

所見1：

位置：00:00～01:34（冒頭・最重要位置）

内容：「高市総理大臣が発表した自由で開かれたインド太平洋を進化させた外交方針」

タイミング効果：放送の冒頭に政府の外交政策発表を配置することで、この政策が最重要ニュースとして位置づけられ、視聴者の認知的優先度が設定される。

所見2：

位置：02:59～04:50（末尾・記憶に残りやすい位置）

内容：岡本選手の本塁打記録

タイミング効果：政治的に中立で感情的に肯定的なスポーツニュースを末尾に配置することで、放送全体の印象が明るく締めくくられ、前半の政治的内容への批判的思考が緩和される可能性がある。

まとめ：政府の外交政策発表を冒頭に配置し、感情的に肯定的なスポーツニュースを末尾に配置するという構成は、放送全体の印象管理として機能している可能性がある。ただし、定時ニュースの標準的な構成（重要度順→軽い話題で締め）との区別が困難であり、スコアは中程度に留める。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



8. 選択的憤慨

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場に対する憤慨と、同等の他の立場への無反応の非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に引き金となった出来事を記録すること。反応は、同等の引き金が他の立場で類似した反応を生まなかった場合にのみ選択的と評価できる。

所見1：

タイムスタンプ：02:22~02:27

引き金となった出来事：自衛隊ロゴマークへのSNS批判

反応：「批判の声が相次ぎました」という中立的な事実報道

比較：外交政策ニュースにおいて、政府政策への批判的反応は一切言及されていない (00:03~01:34)

非対称性：部分的に検証可能 — 自衛隊ロゴへの批判は言及されたが、外交政策への批判は言及されていない。ただし、これは選択的憤慨というよりも選択的省略 (基準4) の問題として分類する方が適切である。

まとめ：本放送はスタジオ読み上げ形式であり、司会者の感情的反応が構造的に存在しないため、選択的憤慨の評価対象が限定的である。外交政策と自衛隊問題における批判言及の非対称性は存在するが、これは主に省略の問題として評価すべきである。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

9. 網羅性								7/10	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



ソフトファクト — 6つの定性的手法

10. フレーミング (枠組み設定)

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのように基本的に枠組みされているか？

所見1：

タイムスタンプ：00:08～00:21

引用：「高市総理大臣が発表した自由で開かれたインド太平洋を進化させた外交方針の下、アフリカ大陸の平和の実現や成長の好循環などを目指す考えを示しました」

操作：政府の外交政策を「平和」「成長」「好循環」という肯定的フレームで提示し、批判的視点を排除している。

なぜ問題か：視聴者は政府の外交政策が普遍的に肯定的なものとして受け取る可能性があり、政策の問題点や対立する利害関係が見えなくなる。

所見2：

タイムスタンプ：02:22～02:27

引用：「自衛隊のロゴマークにふさわしくない、などといった批判の声が相次ぎました」

操作：批判を「ふさわしくない」という美的・形式的問題として枠組みし、より深刻な軍事組織の文化的問題や組織的問題としてのフレームを回避している。

なぜ問題か：問題の本質（軍事組織における暴力的シンボルの使用と組織文化）が矮小化され、単なる「イメージ問題」として処理される。

所見3：

タイムスタンプ：00:43～01:03

引用：「国際秩序の維持・強化には各国の自立性や強靭性を強化していく必要があり、あらゆる分野で必要な支援協力を行っていく」

操作：日本の対外政策を「国際秩序の維持」という普遍的価値として枠組みし、特定の地政学的利益追求という側面を隠蔽している。

なぜ問題か：日本の外交政策が中立的・普遍的なものとして提示され、中国・ロシアとの地政学的競争という文脈が完全に排除される。

まとめ：外交政策ニュースは政府の立場を肯定的フレームで一方向的に提示しており、自衛隊ロゴ問題は問題の深刻さを矮小化するフレームで処理されている。定時ニュースの形式的制約を考慮しても、フレーミングの偏りは放送法第4条の多角的論点提示義務に照らして問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



11. 言葉の選択と用語

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見1：

タイムスタンプ：00:15～00:16

引用：「自由で開かれたインド太平洋を進化させた外交方針」

操作：「進化させた」という表現は政策の改善・発展を含意し、前政権からの継続性と正当性を自動的に付与している。

なぜ問題か：中立的な代替表現は「変更した」または「修正した」であり、「進化」は価値判断を含む肯定的用語である。

所見2：

タイムスタンプ：01:10～01:17

引用：「若者に明るい未来を引き継ぎ、ともに強く豊かになっていきたいと強調しました」

操作：「明るい未来」「強く豊かに」という感情的・肯定的表現を政府スポークスマンの言葉として無批判に引用している。

なぜ問題か：政治的スローガンを事実報道と同等の扱いで提示することで、視聴者の批判的判断を妨げる可能性がある。

所見3：

タイムスタンプ：02:35～02:42

引用：「部隊のロゴについては、隊員の士気向上や貴族意識の向上目的で作成しております」

操作：「貴族意識」という表現は自衛隊の公式声明からの引用であるが、この用語の意味・適切性についての解説がない。

なぜ問題か：「貴族意識」という特異な表現が無批判に放送され、視聴者が自衛隊の組織文化について適切に判断するための文脈が欠落している。

まとめ：外交政策報道において政府の肯定的スローガンが無批判に引用されており、言語選択が政府の立場を強化する方向に機能している。ただし、スコアを中程度に留めるのは、定時ニュースの形式的制約と、明らかな侮辱的言語の不使用を考慮したためである。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



12. 司会者の行動

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：質問、割り込み、共感表明における非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に引き金となった出来事を記録すること。介入は、他のゲストで同様の引き金が類似した介入を生まなかった場合にのみ非対称と評価できる。

所見1：

タイムスタンプ：00:00～04:50（放送全体）

引き金となった出来事：本放送はスタジオ読み上げ形式であり、司会者とゲストの対話は存在しない。

引用（司会者）：「11時のNHKニュースです」（00:00）

比較：対話形式のゲストが存在しないため、非対称性の評価対象となる比較事例がない。

非対称性：検証不可能 — 本放送は一方的な読み上げ形式であり、司会者の介入・質問・割り込みが構造的に存在しない。

まとめ：本放送はスタジオ読み上げ形式であり、司会者とゲストの対話が存在しないため、司会者行動の非対称性を評価する対象がない。スコア1は、読み上げ内容の選択・強調における微細な差異の可能性を考慮した最低限の留保である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



13. 質問の非対称性

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

本放送はスタジオ読み上げ形式であり、インタビューや質疑応答が存在しない。質問の非対称性を評価する対象がない。

まとめ：本放送の形式上、質問の非対称性は評価不可能である。スコア0は非対称性の不在ではなく、評価対象の不在を示す。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



14. 偽りの均衡 (偽りの均衡)

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出すこと。

所見1：

タイムスタンプ：02:22～02:58

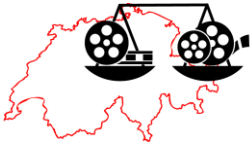
構成：「批判の声が相次いだ」（批判側）→「使用を中止することとします」（自衛隊側）

分析：批判側の具体的内容が示されないまま自衛隊の対応声明が詳細に引用されることで、表面上は「批判あり→対応あり」という均衡が演出されているが、実際には自衛隊側の立場が圧倒的に詳細に報道されている。

まとめ：偽りの均衡は軽微であり、本放送の主要な問題は均衡の偽装よりも対抗意見の完全欠落（省略）にある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15. アジェンダ設定

5/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上らないか？

所見1：

設定されたアジェンダ要素：高市政権のFOIP政策が「進化」であり、アフリカ政策の正当な方向性であることが自明の前提として設定されている。

タイムスタンプ：00:08～00:21 — 根拠：「自由で開かれたインド太平洋を進化させた外交方針の下、アフリカ大陸の平和の実現や成長の好循環などを目指す考えを示しました」

代替アジェンダ：FOIP政策の問題点、アフリカ諸国の自主性・主権との関係、中国の対アフリカ政策との比較

所見2：

設定されたアジェンダ要素：自衛隊ロゴ問題が「SNS批判→使用中止」という解決済みの問題として枠組みされ、組織的問題の継続的監視がアジェンダから外されている。

タイムスタンプ：02:22～02:58 — 根拠：「批判の声が相次いだことを受けて中止しました」（過去形・完了形）

代替アジェンダ：自衛隊の組織文化、シビリアンコントロールの実効性、再発防止策の制度的担保

まとめ：政府の外交政策が批判的検討なしに「正当な方向性」として設定され、自衛隊問題が「解決済み」として処理されることで、継続的な監視・批判がアジェンダから排除されている。これは放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から問題がある。

第2段階 — 総合評価

個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見（1文）
1	フレーミング	4	外交政策が「平和・成長」という肯定的フレームで一方向的に提示され、批判的視点が排除されている
2	言葉の選択	3	「進化させた」「明るい未来」等の政府スローガンが無批判に引用されている
3	専門家の選定	2	独立した専門家が一切登場せず、当事者（政府・自衛隊）の声明のみが引用されている
4	省略	6	野党・対抗意見・批判内容の具体性が完全に欠落している
5	司会者の行動	1	読み上げ形式のため評価対象が存在しない
6	時間配分	3	政治的内容において政府・自衛隊側のみに時間が割り当てられている

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



7	質問の非対称性	0	読み上げ形式のため評価対象が存在しない
8	連座による信用失墜	0	当該技法の使用は確認されない
9	数字の操作	1	スポーツ統計の文脈欠如は軽微な問題に留まる
10	タイミング	3	政府政策を冒頭に、中立的スポーツニュースを末尾に配置する構成
11	映像選択	2	トランスクリプトからの評価は限定的
12	情報源の選択	5	引用情報源がすべて当事者側（政府・自衛隊）に偏っている
13	選択的憤慨	1	読み上げ形式のため評価対象が限定的
14	偽りの均衡	2	軽微な偽装均衡が自衛隊ロゴ報道に存在する
15	アジェンダ設定	5	政府政策が自明の正当性として設定され、批判的監視がアジェンダから排除されている

結果

- 総合スコア（15基準の平均）：2.5 / 10
- 完全性スコア：3.0 / 10
- 複合スコア：2.7 / 10（基準70% + 完全性30%）

主要技法

本放送における最も強力な3つの技法：

1. 省略（スコア6）：外交政策報道において野党・対抗意見・アフリカ側の視点が完全に欠落しており、自衛隊ロゴ批判の具体的内容も示されていない。政府の政策発表が社会的合意を得ているかのような印象を与える構造的省略が存在する。
2. アジェンダ設定（スコア5）：高市政権のFOIP政策が「進化」として自明の正当性を付与され、自衛隊ロゴ問題が「解決済み」として処理されることで、継続的な批判的監視がアジェンダから排除されている。
3. 情報源の選択（スコア5）：引用された情報源がすべて政府・自衛隊という当事者側に限定されており、独立した専門家・野党・市民社会の声が完全に欠落している。これは放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から構造的問題を示している。

放送の核心メッセージ

メッセージ1（内容的）：「高市政権のFOIP政策はアフリカにおける平和と成長を実現する正当な外交方針である」

技法：肯定的フレーミング、政府スローガンの無批判引用 — 根拠：00:08～00:21、00:43～01:17

メッセージ2（個人的）：「自衛隊は批判に適切に対応した組織であり、問題は解決された」

技法：完了形による問題の終結化、自衛隊声明の詳細引用 — 根拠：02:22～02:58

メッセージ3（社会的）：「日本の外交・防衛政策は正しい方向に進んでおり、批判的検討よりも前向きな展望が重要である」

技法：アジェンダ設定、タイミング（スポーツニュースによる締めくくり） — 根拠：00:08～01:34、02:59～04:50

操作度の分類

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

- 均衡ある報道 (0~2)
- 軽度の傾向 (3~4)
- 明確な一方性 (5~6)
- 体系的な偏り (7~8)
- 極端な偏り (9~10)

根拠：本放送は約4分50秒の短時間定時ニュースであり、深掘り報道を期待することは形式上困難である。複合スコア2.7は「軽度の傾向」の範囲内に位置するが、外交政策報道における対抗意見の完全欠落と情報源の当事者偏重は、放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的論点提示）の観点から問題がある。スポーツニュースの存在が全体的な印象を中和しているが、政治的内容の構造的偏りは否定できない。定時ニュースの形式的制約を最大限考慮した上でも、野党・対抗意見への言及がゼロである点は放送法の趣旨に照らして改善の余地がある。

結論

本放送は短時間の定時ニュース形式であり、深掘り報道としての完全性を求めることは形式上困難である。しかし、外交政策報道において政府の立場のみが肯定的フレームで提示され、野党・対抗意見・アフリカ側の視点が完全に欠落している点は、放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的論点提示）の観点から問題がある。自衛隊ロゴ問題においても、批判の具体的内容が示されないまま自衛隊の対応声明が詳細に引用されており、情報源の当事者偏重が確認される。複合スコア2.7は「軽度の傾向」の範囲内であり、意図的な操作と断定するには証拠が不十分であるが、構造的な省略と情報源偏重のパターンは放送法第4条の趣旨に照らして継続的な監視が必要である。

第3段階 — 政党政治的バイアス

政党別スコア

政党	スコア (-5~+5)	放送内容 対 政党綱領
LDP (自民党)	+2	00:08~01:34 「高市総理大臣が発表した自由で開かれたインド太平洋を進化させた外交方針」 — 綱領：インド太平洋戦略、防衛強化 — 政策が批判なしに肯定的に報道されており、綱領との整合性は高いが一方的提示
CDP (立憲民主党)	0	言及なし — 綱領：護憲、外交的解決重視 — 放送内に一切登場せず、評価対象なし
公明党 (Komeito)	0	言及なし — 綱領：平和志向、LDP抑制 — 放送内に一切登場せず、評価対象なし
維新の会 (Ishin)	0	言及なし — 綱領：改憲、行政改革 — 放送内に一切登場せず、評価対象なし
共産党 (JCP)	0	言及なし — 綱領：護憲、反軍拡 — 放送内に一切登場せず、評価対象なし
国民民主党 (DPP)	0	言及なし — 綱領：実用主義、中道 — 放送内に一切登場せず、評価対象なし

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



政党バイアスまとめ

- 最も正確な描写：LDP（スコア+2）— 政策が綱領と整合的に報道されているが、批判的検討なし
- 最も強い歪曲：該当なし（他党は言及自体がない）
- 0からの平均乖離：0.3
- 結論：本放送において政党の政策が積極的に歪曲されている事例は確認されない。しかし、LDPの政策のみが報道対象となり、野党の立場が完全に欠落していることは、放送法第4条第2号（政治的公平）の観点から問題がある。政党間の報道機会の不均衡が最大の問題であり、個別政党の政策歪曲よりも構造的な省略として評価すべきである。

左右スペクトル上の全体的傾向

傾向スコア：-0.8

（正 = 左寄り、負 = 右寄り、0.0 = 均衡）

分類：右寄り

根拠：本放送はLDP政権の外交政策（FOIP）を肯定的フレームで報道し、野党・対抗意見を完全に欠落させている。自衛隊ロゴ問題においても自衛隊の対応声明を詳細に引用し、批判側の具体的内容を省略している。これらの構造的特徴は、政府・自衛隊という右寄りの政治的立場を相対的に有利に扱う傾向を示している。ただし、スコアが-0.8と軽度に留まるのは、放送時間の約39%を占める政治的中立なスポーツニュースと、積極的な右翼的主張の不在を考慮したためである。

第4段階 — 法的評価（放送法第4条）

放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平、報道の正確性、および多角的な論点の提示を求めている。

違反1：

規範：放送法第4条第2号（政治的公平）

事実：外交政策報道において政府（LDP）の立場のみが報道され、野党の見解が完全に欠落している。

根拠：タイムスタンプ00:03～01:34 — 引用：「高市総理大臣が発表した自由で開かれたインド太平洋を進化させた外交方針の下、アフリカ大陸の平和の実現や成長の好循環などを目指す考えを示しました」

評価：政府の外交政策発表が野党の批判・代替案なしに報道されることは、政治的公平の観点から問題がある。ただし、短時間の定時ニュースという形式的制約を考慮すると、単一ニュース項目としての評価には限界がある。

違反2：

規範：放送法第4条第4号（多角的論点の提示）

事実：自衛隊ロゴ問題において、批判の具体的内容・根拠が示されず、自衛隊の対応声明のみが詳細に引用されている。

根拠：タイムスタンプ02:22～02:58 — 引用：「批判の声が相次いだことを受けて中止しました」→「当該ロゴの使用を中止することとします」

評価：批判側の論点が具体的に示されないまま当事者の対応声明のみが詳細に報道されることは、多角的論点提示の観点から不十分である。

放送法第4条 総合評価

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



本放送は短時間の定時ニュース形式であり、放送法第4条が求める完全な多角的論点提示を単一放送内で実現することには形式的制約がある。しかし、外交政策報道における野党意見の完全欠落と、自衛隊問題における批判内容の具体性欠如は、放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的論点提示）の趣旨に照らして問題がある。情報源がすべて政府・自衛隊という当事者側に限定されている点は、同法が求める「できる限り多くの角度から論点を明らかにすること」の要件を満たしていない。定時ニュースの形式的制約を最大限考慮した上でも、野党・対抗意見への言及がゼロである点は改善の余地があり、継続的な放送パターンとして評価される場合には放送法第4条違反の認定可能性がある。

情報源深層チェック（引用されたすべての専門機関・NGO・相談機関対象）

本放送において引用された組織・機関は以下の通りである。

1. 茂木外務大臣（外務省）

- 資金調達：国家予算（税金）。外務省は政府機関であり、LDP政権の政策実施機関である。
- 委任：外交政策の立案・実施者であり、中立的評価とは構造的に相容れない。
- 利益相反：自身が立案した政策の宣伝者として、政策の肯定的評価に制度的利益を持つ。
- 信頼性マトリクス（6次元）：D1利益相反：-2 / D2個人的リスク：-1 / D3専門能力：+1 / D4意見一貫性：0 / D5感情化対データ：-1 / D6情報源レベル：+1 → 合計：-2 → ソース信号機：黄色
- 対抗意見：野党外交担当議員（CDP・JCP等）、独立した外交政策研究者、アフリカ研究専門家の見解が欠落している。

2. 陸上自衛隊第一普通科連隊（公式声明）

- 資金調達：防衛省予算（税金）。自衛隊は政府機関であり、防衛省の指揮下にある。
- 委任：自組織の行動を説明・正当化する立場であり、中立的評価とは相容れない。
- 利益相反：組織的批判を受けた後の対応声明であり、自組織の正当性維持に制度的利益を持つ。
- 信頼性マトリクス（6次元）：D1利益相反：-2 / D2個人的リスク：-1 / D3専門能力：+1 / D4意見一貫性：0 / D5感情化対データ：0 / D6情報源レベル：+1 → 合計：-1 → ソース信号機：黄色
- 対抗意見：軍事倫理専門家、シベリアンコントロール研究者、批判したSNSユーザーの代表的意見が欠落している。

重要注記：「公式声明」「政府発表」は中立的な事実認定ではない。これらは当事者の立場からの情報発信であり、独立した専門家による検証・対抗意見と並置されて初めて放送法第4条が求める多角的論点提示が実現される。本放送においてこの並置が行われていない点が構造的問題の核心である。

分析完了 — NHKニュース（午前11時）放送法第4条準拠詳細分析レポート

バージョン：2.7-detail / 方法論的原則K5+K13適用済み

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



59. 数字の操作

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：統計の選択的または誤解を招く使用。

所見1：

タイムスタンプ：04:13～04:43

数字：「大リーグで3試合連続のホームランをマークした日本選手は...5人目」

欠落している文脈：MLB全体での3試合連続本塁打の頻度・難易度についての統計的文脈が欠落している。

影響：日本人選手内での比較のみが示され、記録の絶対的な希少性・価値についての客観的評価が困難である。

まとめ：数字の操作は軽微であり、スポーツ統計の文脈欠如は報道上の重大な問題とは言えない。外交・防衛ニュースにおいては数字・統計の引用自体がなく、評価対象が限定的である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15基準の総合評価

個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選定	2/10	問題なし
2	情報源の選択	5/10	顕著な偏り
3	時間配分	3/10	軽微な偏り
4	省略（選択的省略）	6/10	顕著な偏り
6	連座による信用失墜（連座制）	0/10	問題なし
7	タイミング	3/10	軽微な偏り
8	選択的憤慨	1/10	問題なし
9	網羅性	7/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	4/10	軽微な偏り
11	言葉の選択と用語	3/10	軽微な偏り
12	司会者の行動	1/10	問題なし
13	質問の非対称性	0/10	問題なし
14	偽りの均衡（偽りの均衡）	2/10	問題なし
15	アジェンダ設定	5/10	顕著な偏り
59	数字の操作	1/10	問題なし

ハードファクトスコア (1-8)

3.4/10

軽微な不均衡

ソフトファクトスコア (9-14)

2.5/10

問題なし

総合スコア

3.0/10

軽微な不均衡

ハードファクトとソフトファクトの平均

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



凡例 — スコアの定義

基準ごとの個別スコア (0-10)

0	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
1-2	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
3-4	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
5	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
6	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
7	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
8-9	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
10	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

集約偏差指数 — 解釈範囲

0.0 - 2.5	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
2.6 - 4.0	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
4.1 - 6.0	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
6.1 - 8.0	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
8.1 - 10	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

政党バイアス (-5~+5)

-5~-3	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
-2~-1	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
0	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
+1~+2	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
+3~+5	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

法的・方法論的注記

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
 주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

事実認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録1：国内放送法

法的根拠 日本 — NHK

法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



監督機関

総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録2 : 科学的参考文献

参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. arXiv:2304.06588.

SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](#)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](#)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](#)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | www.svfab.ch | kontakt@svfab.ch | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

연락처 및 추가 정보:

www.SVFAB.ch | Kontakt@SVFAB.ch

은행 계좌: PostFinance – POFICHBE

IBAN: CH32 0900 0000 1675 6251 1

수취인: SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

회장: 다비드 Schlaepfer / Schlaepfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 www.svfab.ch 또는 kontakt@svfab.ch를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1